

2015.03.30-1

37会、男池(おいけ)～かくし水のユキワリイチゲ、アズマイチゲ
(大分県由布市庄内町)



ユキワリイチゲ (雪割一華) キンポウゲ科

三俣山（みまたやま）1745m

星生山（ほっしょうざん）1762m

08:38 四季彩ロードからの展望

涌蓋山（わいたさん）1500m





涌蓋山（わいたさん）1500m（珍珠富士、小国富士）と
天ヶ谷（あまがたに）貯水池（大分県九重町）

平治岳（ひいじだけ）1643m



大船山（たいせんざん）1786m

三俣山（みまたやま）1745m



黒岳1587m

大船山（たいせんざん）1786m

平治岳（ひいじだけ）1643m



ぐるっとくじゅう周遊道路
Gurutto Kiju Excursion Route

ぐるっとくじゅう周遊道路

平治岳（ひいじだけ）1643m

黒岳1587m

大船山（たいせんざん）1786m



ここでぱったり熊本組の小出さん、柴田さんと遭遇する。
ぐるっとくじゅう周遊道路

09:12



09:27 男池（おいけ）駐車場870m

09:31



男池清掃員詰所

おんせん県おおいた
 2015 7.19-30

おんせん県おおいた
 デスティネーションキャンペーン
 おんせん県おおいた
 2015 7.19-30

男池清掃員詰所付入口

園内にお出取りは禁

ペット(犬等)を連れて入場はご遠慮下さい

おんせん県おおいた
 デスティネーションキャンペーン

おんせん県おおいた
 2015 7.19-30

入園はご遠慮下さい

おんせん県おおいた
 デスティネーションキャンペーン

男池清掃員詰所で協力金100円を払う

男池

黒岳・大船山・平治岳

← 登山道

黒岳原生林

人間の影響を受けない自然のままの森林を「原生林」といいます。原生林は、文明の発展とともに急激に姿を消し、日本でも数少なくなっています。ブナやカエデ類を中心とする原生林に被われた黒岳は、「21世紀に残したい日本の自然100選」(昭和58年1月)に選ばれた貴重な自然です。この美しい自然を大切にして、いつまでも後世に伝えたいものです。



男池（おいけ）(日本の名水百選)

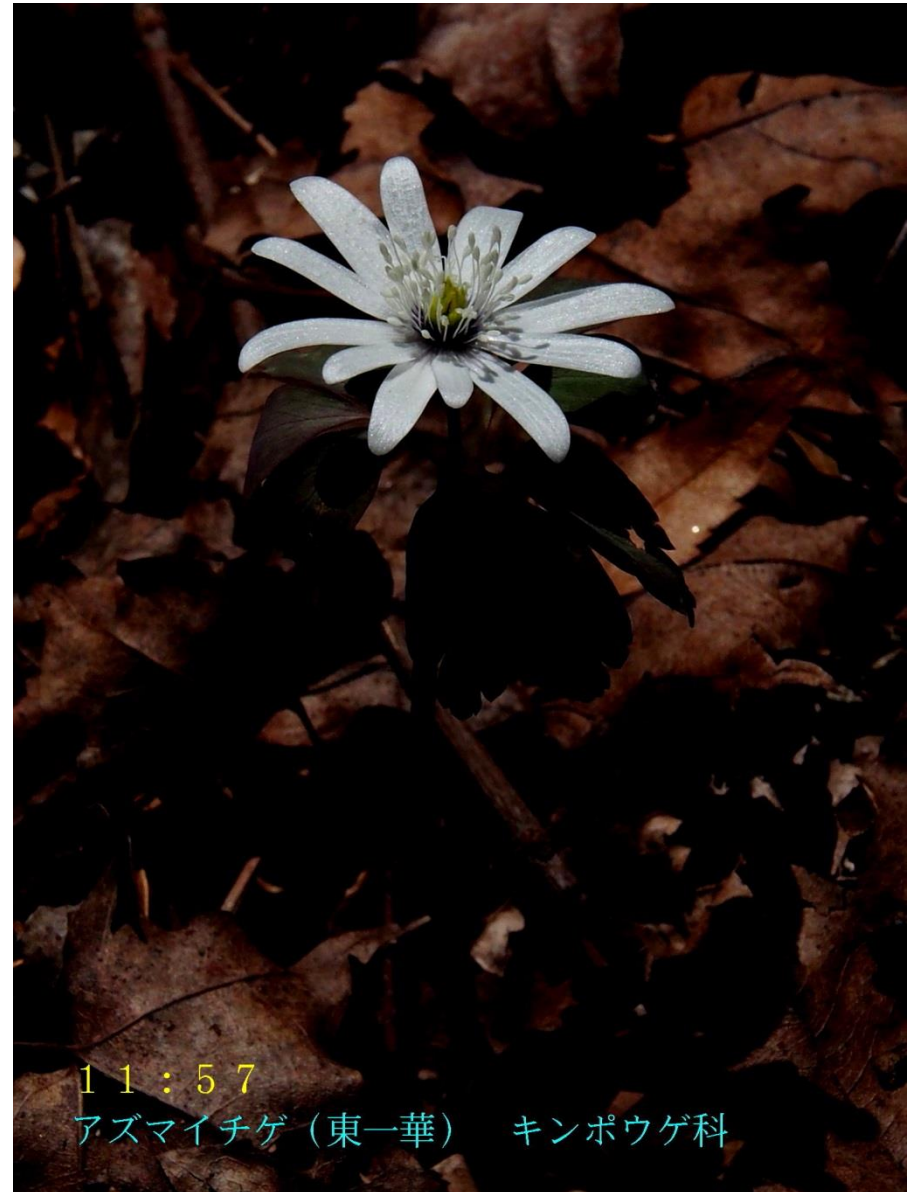
黒岳の地下水が地層を通り抜けて湧き出すため、
適度のカルシウム分などのミネラルを含んでいる。
また、微量の炭酸ガスを含んでいる。





アブラチャン(油瀝青) クスノキ科 落葉低木

かくし水に行く途中のアズマイチゲの花は、
開いていなかったが、帰りの時は開いていた。



ユキワリイチゲ (雪割一華) キンポウゲ科





10:19



10:21 鷺掴みの木



黒岳原生林のバイケイソウ（梅蕙草）ユリ科

両腕を上げているように見え、元気をもらえる 生命(いのち)の木(ブナ)。パワースポット





サバノオ（鯖の尾） キンポウゲ科
名の由来は、果実がT字型でサバの尾ににているから。



ハルトラノオ (春虎尾)
タデ科



ユキワリイチゲ (雪割一華)
キンポウゲ科

「雪割一華」早春、雪が残るような時期に咲き、1本の花茎の茎頂に1輪の花(一華)を咲かせることからこの名がある。

本州西部(近畿)から九州に分布する多年草。スプリング エフェメラルの一種。



ユキワリイチゲ (雪割一華) キンポウゲ科



ユキワリイチゲを
前にして

後列左から合志、工藤
前列左から能登、柴田、小出





11:25



ユキワリイチゲ (雪割一華)
キンポウゲ科



1本の花茎の茎頂に1輪の花をつけるので「イチゲ(一華)」で、東日本に自生するという意味で「東(あずま)」だが、日本各地に自生する。



アズマイチゲ(東一華) キンポウゲ科

春先に花を咲かせ、落葉広葉樹林の若葉が広がる頃には
地上部は枯れてなくなり、
その後は翌春まで地中の地下茎で過ごすスプリング・エフェメラルの一種。

